



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月7日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)小野 寿也 (TEL) 03(5484)6142
 四半期報告書提出予定日 2021年5月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	10,445	△2.7	1,608	5.0	1,626	6.3	1,083	15.4
2020年12月期第1四半期	10,740	0.9	1,532	14.0	1,529	11.9	939	6.8

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 1,328百万円(107.8%) 2020年12月期第1四半期 639百万円(△37.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	55.69	—
2020年12月期第1四半期	48.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	57,709	45,368	70.9
2020年12月期	57,779	44,432	69.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 40,889百万円 2020年12月期 39,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	10.00	—	19.00	29.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	10.00	—	20.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,300	0.2	2,170	△14.2	2,200	△14.1	1,420	△11.5	72.98
通期	42,040	5.2	4,800	5.8	4,850	5.1	3,050	5.2	156.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 1 Q	20,763,600株	2020年12月期	20,763,600株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	1,306,513株	2020年12月期	1,306,325株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 1 Q	19,457,223株	2020年12月期 1 Q	19,457,668株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く中、段階的な社会経済活動の持ち直しも見られましたが、感染再拡大による2度目の緊急事態宣言が1月初旬に発出される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連の建設・住宅業界は、世帯数の減少や住宅の長寿命化等により新設住宅着工戸数が年々減少傾向にある等、厳しい環境となっております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、生活様式や働き方が大きく変化する中、多様化するニーズに応じた、より安心・安全で快適な住空間づくりを目指し、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、ブラインドやロールスクリーンなどの窓まわり製品、カーテンレール、間仕切製品の新たな訴求方法として、パソコンやスマートフォンで銀座ショールームの館内を体感できる「バーチャルショールーム」を公開する等、変化する環境に応じた取り組みを推進してまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、くし歯式の強みを活かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注・収益の獲得に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、生産体制の改善等による収益獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,445百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は1,608百万円（前年同期比5.0%増）、経常利益は1,626百万円（前年同期比6.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,083百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

当四半期は、限りある木材を有効活用した木製ブラインド『フォレティア チェーン エコ』に、定番からトレンドまでを網羅した新色スラットをラインナップし発売したほか、コロナ禍による需要の増加を背景に間仕切『アコーデオンカーテン』と、大開口に対応できる大型の間仕切『ハーモニードア』をリニューアルし、共に抗菌加工を施したレザーをラインナップすることで、市場ニーズに応え、様々な用途やシーンに対応できる製品としました。

また、スマートスピーカーやスマートフォンでの操作も可能にした住宅向け電動製品『スマートインテリアシェード ホームタコス』や、スリムでスタイリッシュなデザインと機能性が人気の間仕切『プレイス スウィング』など、昨年発売した付加価値の高い製品の市場浸透に注力しました。

以上の結果、売上高は9,224百万円（前年同期比2.0%増）となり、営業利益につきましては、継続的なコスト低減活動等に努めた結果、1,545百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

昨年第1四半期における新設物件の反動により、売上高は436百万円（前年同期比49.7%減）となりました。営業利益につきましては、製造・施工コストの管理体制強化など継続的な原価低減活動に努めましたが、第1四半期においては売上高の減少等により26百万円（前年同期比67.0%減）となりました。

[減速機関連事業]

無人搬送台車駆動用減速機など、当社得意の個別製品の拡販に注力しましたが、工作機械の市況は回復するも民間設備投資需要全体では厳しい状況が続いているため定番製品が伸び悩み、売上高は784百万円（前年同期比5.5%減）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動等に取り組みましたが、売上高の減少等により37百万円（前年同期比27.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は57,709百万円で、前連結会計年度末と比較し69百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産は38,633百万円で、前連結会計年度末と比較し635百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加した一方で、現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は19,076百万円で、前連結会計年度末と比較し566百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得による増加や、株価上昇により投資有価証券が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は12,341百万円で、前連結会計年度末と比較し1,005百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が増加した一方で、退職給付に係る負債や未払法人税等が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は45,368百万円で、前連結会計年度末と比較し935百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことや、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は70.9%と、前連結会計年度末と比較し、1.7ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束の目処は立たず、一方でワクチン接種の進行や各種政策の効果により景気は次第に回復に向かうことが期待されますが、国内外の経済環境は先行き不透明な状況が続くと思われまます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、生活様式や働き方が大きく変化している中、多様化するニーズに応じた製品の開発や、環境の変化に応じた営業活動を展開し、製品の提供に取り組むとともに、リフォーム需要や海外市場の獲得強化、非住宅市場での拡販に取り組み、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業では、業界トップレベルの入出庫スピードや省エネ性、耐震性を誇る当社の「くし歯技術」を活かした付加価値開発を行い、積極的な提案活動を展開するとともに、既設物件に対する改造改修提案を推進し顧客満足度の向上に努めてまいります。減速機関連事業では、当社の保有技術を活かした製品の差別化戦略により物流・工場自動化設備等の成長分野においてシェア拡大を図ってまいります。

これらを踏まえ、2021年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において2021年2月5日に公表しました予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,517,552	17,190,759
受取手形及び売掛金	14,516,220	14,926,349
商品及び製品	814,573	725,874
仕掛品	1,432,716	1,464,130
未成工事支出金	134,226	294,719
原材料及び貯蔵品	3,582,843	3,727,816
その他	313,884	347,873
貸倒引当金	△43,589	△44,434
流動資産合計	39,268,428	38,633,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,493,131	14,300,101
減価償却累計額	△9,667,593	△9,737,262
建物及び構築物(純額)	3,825,537	4,562,838
土地	7,444,602	7,448,454
その他	16,125,123	15,722,881
減価償却累計額	△13,955,445	△14,047,824
その他(純額)	2,169,677	1,675,057
有形固定資産合計	13,439,817	13,686,350
無形固定資産	491,377	533,023
投資その他の資産		
投資有価証券	1,951,354	2,225,397
退職給付に係る資産	358,044	357,227
その他	2,386,784	2,392,073
貸倒引当金	△116,553	△117,180
投資その他の資産合計	4,579,629	4,857,518
固定資産合計	18,510,824	19,076,893
資産合計	57,779,253	57,709,981

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,941,753	6,272,857
未払金	1,240,168	1,200,885
未払法人税等	854,533	588,126
賞与引当金	215,843	632,984
役員賞与引当金	61,050	15,401
製品保証引当金	14,094	10,726
その他	1,534,548	1,147,487
流動負債合計	9,861,992	9,868,468
固定負債		
役員退職慰労引当金	359,525	343,761
退職給付に係る負債	2,984,324	1,999,602
その他	141,116	130,111
固定負債合計	3,484,965	2,473,474
負債合計	13,346,958	12,341,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,060	4,395,060
利益剰余金	31,701,118	32,415,008
自己株式	△671,776	△672,036
株主資本合計	39,899,402	40,613,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161,566	340,048
繰延ヘッジ損益	△1,262	5,813
為替換算調整勘定	28,014	40,558
退職給付に係る調整累計額	△123,998	△110,159
その他の包括利益累計額合計	64,320	276,262
非支配株主持分	4,468,571	4,478,743
純資産合計	44,432,295	45,368,037
負債純資産合計	57,779,253	57,709,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	10,740,864	10,445,694
売上原価	5,958,574	5,683,594
売上総利益	4,782,290	4,762,100
販売費及び一般管理費	3,249,521	3,153,276
営業利益	1,532,768	1,608,823
営業外収益		
受取利息	195	299
受取配当金	1,737	830
不動産賃貸料	8,975	8,922
受取保険金	14,653	-
為替差益	-	14,462
その他	9,094	17,640
営業外収益合計	34,657	42,154
営業外費用		
支払利息	35	1
売上割引	20,233	20,049
災害による損失	9,306	-
為替差損	5,074	-
その他	2,839	4,107
営業外費用合計	37,488	24,157
経常利益	1,529,937	1,626,820
特別損失		
固定資産除却損	3,255	0
投資有価証券評価損	106,186	-
特別損失合計	109,441	0
税金等調整前四半期純利益	1,420,496	1,626,820
法人税、住民税及び事業税	435,708	581,788
法人税等調整額	35,097	△58,999
法人税等合計	470,806	522,789
四半期純利益	949,690	1,104,030
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,418	20,452
親会社株主に帰属する四半期純利益	939,271	1,083,578

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	949,690	1,104,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△330,339	190,293
繰延ヘッジ損益	2,464	7,075
為替換算調整勘定	△4,370	12,544
退職給付に係る調整額	21,629	14,323
その他の包括利益合計	△310,615	224,237
四半期包括利益	639,074	1,328,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	613,537	1,295,519
非支配株主に係る四半期包括利益	25,537	32,747

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(退職給付信託の設定)

当社は、当第1四半期連結会計期間において、将来の退職給付に備えることを目的として、退職給付信託を設定し、現金及び預金10億円を拠出したしました。これにより、退職給付に係る負債が同額減少しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,041,450	868,981	830,432	10,740,864	—	10,740,864
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	15,187	15,187	△15,187	—
計	9,041,450	868,981	845,620	10,756,052	△15,187	10,740,864
セグメント利益	1,401,548	79,388	51,831	1,532,768	—	1,532,768

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,224,236	436,840	784,618	10,445,694	—	10,445,694
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	34,503	34,503	△34,503	—
計	9,224,236	436,840	819,121	10,480,197	△34,503	10,445,694
セグメント利益	1,545,227	26,233	37,363	1,608,823	—	1,608,823

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。